

2017年度 開発教育指導者研修 授業実践報告

【実践者】

授業者氏名	中須賀裕幸	学校名	広島県立安西高等学校
教科・科目	地理A	対象学年（人数）	2年2・3組（地理選択37名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2017年11月21日～11月24日（3時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：イスラームとムスリムの生活					
2. 教科・領域との関連性： 地理A：教科書『地理A』 (第一学習社) p.88-93.	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	Bグローバル社会	相互依存	情報化		
	C地球的課題	人権	環境	平和	開発
D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価の観点を意識して設定）：					
<p>【知識及び技能】 北アフリカ・西アジア・中央アジア地域の地誌や、イスラム教・イスラム社会に関する基本的事項を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イスラムに対する偏見や誤解イスラムについての偏見や誤解にとらわれることなく、イスラム社会の現実の姿を公正な視点で判断、自分の意見を表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界人口の世界人口の4分の1を占めるイスラム社会の現状と課題を理解し、日本社会に暮らすイスラム教徒との共生を図ることのできる地球市民としての態度を涵養する。</p>					
5. 単元の 評価規準例	①知識及び技能	○クルアーンに規定されるイスラム教徒(ムスリム)の生活とその多様性が理解できたか。			
	②思考力、判断力、 表現力等	○映像資料等を用いて、自分で考察し、考察結果を的確な表現で発表することができたか。			
	③学びに向かう力、 人間性等	○ペアワークでの話し合いに積極的に参加し、発表することができたか。			
6. 単元設定 の理由 (生徒観、 教材観、指 導観)	<p>(1) 教材観</p> <p>イスラム教について、近年のテロ事件のニュース等により、短絡的で誤ったイメージが持たれがちである。また、食生活等の戒律などの異質性がことさらに強調される場面もある。</p> <p>しかし、実際のイスラム教はキリスト教などと共通の教義を持つものであり、また、現実のイスラム教徒(ムスリム)の生活は地域や民族によって多様性もみられる。また、日本にも多くのイスラム教徒が住んでおり、貿易等を通して日本とイスラムのかかわりも強くなっている。今日、自他の文化や慣習を互いに尊重し、相違を認めた上で共存する新たな社会の在り方を創造することが求められていることを認識させたい。</p>				

	<p>(2) 生徒観</p> <p>年度当初から教室全体がたいへん落ち着かず、学習意欲の低い生徒の多いクラスである。2学期に入り落ち着きつつあるが、一定の学習意欲がある層と低い層の両極に分かれてきている。</p> <p>(3) 指導観</p> <p>授業への参加意欲の低い生徒も一定数いるなかで、適宜スライド教材や実物教材を活用したり、授業内容の事象を構成主義的に説明したり、あるいは学習自体をキャリアデザインに関連づけたりして、生徒の知的好奇心を惹起させるように工夫している。本時はワークショップ形式の授業展開を試みる。</p>
--	---

7. 展開計画（全 3時間） 「北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ」

時	ねらい	活動	教材
1	<p>○北アフリカ・西アジア・中央アジア地域の地誌に関する概括的な事項を理解する</p> <p>○イスラム教・イスラム社会についての疑問などを出し合う</p>	<p>①学習プリント</p> <p>②学習プリントの解答</p> <p>③解説</p> <p>④イスラムに関する知識と疑問(付箋紙に記入)</p> <p>⑤次回予告</p>	<p>・学習プリント</p> <p>・地図帳</p> <p>・付箋紙</p>
2 本時	<p>○イスラムについての偏見や誤解にとらわれることなく、イスラム社会の現実の姿を公正な視点で判断できるようになる</p>	<p>①「アザーン」</p> <p>②生徒から出た疑問など(スライド)</p> <p>③「イスラム〇×クイズ」(ワークショップ)</p> <p>④イスラムの教えと現実のレベルのイスラム社会(映像, スライド)</p> <p>⑤「〇×クイズ」の解答(スライド)</p> <p>⑥差別されるイスラム(映像)</p> <p>⑦日本で暮らすイスラム(映像)</p> <p>⑧振り返り</p> <p>※振り返りシート記入</p>	<p>・映像;「アザーン」</p> <p>・「〇×クイズ」</p> <p>・映像;「イスラムの概要」(JICA)</p> <p>・PPT</p> <p>・映像;「差別・排斥されるイスラム教徒」(JICA)</p> <p>・映像;「世界各地のイスラム」「日本で暮らすイスラム」(JICA)</p>
3	<p>○現代の西アジア地域・イスラム世界の課題について学ぶ</p> <p>○中東戦争, パレスチナ問題, イスラム復興運動などの今日の中東の紛争の歴史的背景を理解する</p>	<p>①資源ナショナリズムと石油</p> <p>②イスラム復興運動</p> <p>③パレスチナ問題</p> <p>④中東の現代史と紛争</p> <p>⑤まとめ</p>	<p>・地図帳</p> <p>・PPT</p> <p>・年表</p> <p>・映像</p>

8 本時の展開（生徒の活動計画）

時程	学習内容	留意点
導入 (5分)	<p>号令・あいさつ</p> <p>①映像視聴「アザーン」</p> <p>②本時の学習テーマを告げ、学習プリントを準備させる。</p> <p>③前時の生徒意見のまとめ(PPT)</p>	<p>学習用具を準備しているか確認する。</p>
展開 I (25分)	<p>④イスラム理解〇×クイズ(ペアワーク)(5分)</p> <p>二人一組毎に〇×カードを配布。ペアワークで、イスラムに関する〇×クイズを解く。すべて正解ならばカー</p>	<p>クイズのカードを生徒二人に一組の割合で用意する。</p>

	<p>⑤映像視聴(3分) 「イスラムの概要」</p> <p>⑥スライドによる解説(10分)</p> <p>⑦個人ワーク・発表(7分)</p>	<p>ドは円環になる。 ワークシート配付。</p> <p>PPT によってクイズの正解と解説を行う。</p> <p>気づきをワークシートに記入させる。 「(1)これまでに伝えられたイスラムに関するイメージに対して、実際のムスリムの生活について学習したことで、気づいたことは何だろうか。」</p>	<p>映像とスライドによって、イスラム世界の中にも多様性があることを理解させ、一面的に理解されがちなイスラム観を修正させる。</p>
展開Ⅱ (15分)	<p>⑧映像視聴(5分) 「差別排斥されるイスラム教徒」「日本に暮らすイスラム教徒」</p> <p>⑨ペアワーク・発表(10分)</p>	<p>映像視聴後、異なる文化を持つ人々との共生の在り方についてペアで話し合い発表させる。</p> <p>「(2)日本に住んでいるイスラム教徒はどんなことで困っているだろうか。」 「(3)私たちがイスラムの人々や、世界の人々と共生するために何が必要だろうか。」</p>	<p>異なる価値観を持つ人々を尊重し共存していくことは今日の社会の重要な課題となっていることに気付かせる。</p>
まとめ (5分)	<p>⑩まとめ グローバル化が進む今日、より異文化理解が重要となってきたことを伝える。</p>		

■アクティビティ 「イスラム〇×クイズ」

<p>①イスラム教を始めたムハンマドは、イスラム教徒から神と同様に崇拝されている。 ○⇒④ ×⇒⑪</p>	<p>②クルアーン(コーラン)では、飲んだり食べたりすることを禁じた食物がある。 ○⇒⑩ ×⇒⑦</p>	<p>③イスラム教徒になるにはイスラム教徒2人の立会で、ある言葉をとなえるだけでよい。 ○⇒⑨ ×⇒⑥</p>
<p>④イスラムの女性は、他人に顔を見せることが許されず、おしゃれも禁止されている。 ○⇒⑤ ×⇒②</p>	<p>⑤クルアーン(コーラン)は利子を認めていないので、イスラム諸国の銀行では利子は付かない。 ○⇒⑦ ×⇒⑧</p>	<p>⑥クルアーン(コーラン)では、離婚は認められない。 ○⇒⑪ ×⇒④</p>
<p>⑦イスラム教徒は、死ぬと火葬ができず、土葬にするのが原則である。 ○⇒⑫ ×⇒①</p>	<p>⑧クルアーン(コーラン)はアラビア語で書かれたものでないと正式とは認められない。 ○⇒③ ×⇒⑨</p>	<p>⑨クルアーン(コーラン)では、一日の礼拝の時間が、決められている。 ○⇒⑥ ×⇒④</p>

<p>⑩イスラム教徒は、断食月のラマダンの一か月間は、全く何も食べずに過ごす。 ○⇒② ×⇒⑤</p>	<p>⑪ユダヤ教の神も、キリスト教の神も、イスラムの神アッラーと同じ神のことである。 ○⇒⑧ ×⇒③</p>	<p>⑫日本人のイスラム教徒は現在5千人から5万人くらいといわれている。 ○⇒① ×⇒⑩</p>
---	--	--

■ワークシート 振り返りのテーマ

<p>(1) これまでに伝えられたイスラムに関するイメージに対して、実際のムスリムの生活について学習したことで、気づいたことは何だろうか。 []</p>
<p>(2) 日本に住んでいるイスラム教徒はどんなことで困っているだろうか。 []</p>
<p>(3) 私たちがイスラムの人々や、世界の人々と共生するために何が必要だろうか。 []</p>

9. 本時の評価

- 「イスラム〇×クイズ」について生徒たちは熱心に答えており、またスライドや映像もよく見れていた。生徒の学習の動機づけとしては成功したように思う。
- 事前に生徒たちのイスラムに関する知識や疑問を出させていたので、その疑問に答えるような形でクイズの解説を行ったので、生徒の学習を深めることにつながったと思う。

10. 学習方法および外部との連携

- 「イスラム〇×クイズ」と映像教材を組み併せたワークショップ（参加型学習）型の授業展開を行った。

11. 他教員・学校内等で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

- 海外の交流校との交流行事
- JICA中国の高校生国際協力体験プログラムへの生徒参加
- 国際理解講演会；「ルワンダの教育を考える会」のマリエルイズさんの講演（11月27日実施）

■参考資料：

- JICA地球ひろば「開発教育指導者研修資料」, JICA制作映像資料。
- 内藤正典『となりのイスラム』, ミシマ社。
- 中田考『イスラーム入門』, 集英社新書。
- 中田考『イスラーム法と何か』, 作品社。
- 後藤明『イスラーム世界史』, 角川ソフィア文庫。
- 池上彰『高校生からわかるイスラム世界』, 集英社文庫。
- 小杉泰, 小杉麻李亜『イスラームという生き方』(上下), NHKテキスト。
- その他 ホームページ等